

岩手県生協連 東日本大震災対応ニュース NO.1

2011年3月15日 岩手県生協連 発行

このたびの激甚災害の中、役職員の方、家族の方や自宅、事業所などなど、被害に遭われた方や施設が多くあり、心からお見舞い申し上げます。また、沿岸に支部や支所を持つ生協では、安否確認ができないままの職員の方もあり、一刻も早い生存確認を心より願っております。

食料・水・ガソリン・灯油など、すべての必需品が不足している中、懸命に組合員のために奮闘しているみなさまに敬意を表しますとともに、今後組合員の生活の復興のために、岩手県生協連も最大限努力してまいりたいと思います。会員生協のみなさんのご協力を、切にお願い申し上げます。

岩手県生協連 会長理事 加藤善正

《震災後の県生協連の役割や動きについて》

県生協連は、いわて生協の地震対策本部会議にも参加しながら以下の役割を行っています。

- 1) 県連加盟団体の被害状況、安否の確認
- 2) 県連加盟団体への情報提供
- 3) 日生協と、東北地連に対し、物資や救援要請の窓口
- 4) 県から要請される救援ボランティアの窓口

※県から要請される救援物資についての、窓口と配送などは、いわて生協を実質的な窓口に行っています。

《各会員生協(17)の状況をお知らせします(11日発生時～15日の集約分まで)》

■いわて生協(15日現在)

- ・いわて生協の店舗や事業所は、被害はありましたが組合員への支援は、営業を続けることだとして、12店舗全店営業をしています。しかし、商品が思うように入らないため買い物の量を制限したり、閉店時間を早めるなどせざるを得ません。
- ・共同購入の支部に関しては、8支部中2つの支部(釜石・けせん)が津波の被害をうけ、営業のめどは立ちません。それ以外の支部も共同購入の配達は、14日(月)から商品配達ができず、チラシの配布や回収もできませんが、**安否確認のため班訪問は行います**。灯油は地震の被害が大きく、入荷見通しがつかないので配達ができない状況。朝配達牛乳は、牛乳は製造できるのに、配達のための燃料不足のため当面配達できない状況。
- ・常勤者について、安否がわからない15名の引き続きの捜索に全力をあげています。
- ・支援物資の提供として、岩手県に対し、缶詰、カイロ、バナナ、果物、粉ミルク、水、米などを提供しています。

■岩手県庁生協(12日時点)

建物や人的被害はない。食堂・売店も営業しているが、物が入らないので供給するものがなく困っている。売店は12日(土)、13日(日)も緊急対応として営業する。

■消費者信用生協(14日時点)

- ・ 釜石センターが津波被害を受け、常勤者 3 名の安否も不明でしたが、13 日無事が確認されました。
- ・ 14日午前 11 時現在、盛岡センター・北上センター・八戸センターの業務を再開しました。
一関センターは入居ビルのライフラインの復旧が進まず業務再開は未定。釜石相談センターは残念ながら事務所が破壊され業務再開は当分の間困難のため、盛岡センターが引継ぎます。
また、震災に遭われたために返済が困難となった方への、返済猶予等の相談を始めました。
- ・ 信用生協では、3 月 29 日臨時総代会の予定でしたが延期することになりました。

■ 岩手学校生協 (13 日時点)

- ・ 久慈・宮古支部などの建物は壊滅的だろうと思われるが、今時点では調べようがなく、久慈の職員で 1 名安否不明者もいる。また、営業車 4 台、自家用車 3 台も流されるなど被害は甚大。
- ・ 水沢・北上支部の建物被害はないが、いわて生協と同じく共同購入の配達はできない。
- ・ 今後、各小中学校では授業を再開することになるが、各学校での物資の不足などが心配。

■ 医療生協 (12 日時点)

- ・ 病院内では、電気の復旧はまだ。トイレも水がなく水運びをしながら使用している。
ガスは一部使用可のため、入院患者の給食を用意している。グループホームなども含め、基本すべて営業継続している。13 日(日)も、内科と小児科はやる予定。
- ・ 医療生協は新築したばかりの建物だが、少しヒビがはいった。
- ・ 月曜日(14 日)までの入院患者の食事確保はできているが、その後が大変。

■ 岩手大学生協 (12 日時点)

- ・ 食堂は電気がまだなので閉店。新入生サポートセンターはやっている。12 日 3 時ごろ電気が復旧した。
- ・ 建物、人的被害などは今のところはないようだ。

■ 岩手県立大学生協・盛岡大学生協 (14 日時点)

- ・ 地震当日(11 日)は、県立大には 150 人の学生が取り残され、学内で夜を明かした。現在は無事帰った。
- ・ 建物や人的な被害はない。

■ 岩手労働者共済生協 (14 日時点)

- ・ 釜石に支所があり、その状況がつかめない。2 名の職員の安否もまだ不明のため心配している。

■ 釜石市職員生協 (13 日時点)

- ・ 釜石へは電話もつながらず心配したが、13 日 4 時 小笠原さん店長が県連事務所を訪問。以下小笠原さんの証言。

「釜石市役所は高台にあるものの、一階部分まで水が入り地下にある釜石市職員生協はめっちゃめっちゃになり被害は甚大です。とにかく、食べ物がなく、釜石市長から 1 万食の米を納入してもらえよう生協に依頼して見てくれと託された。電話も通じないので直接やってきた」とのこと。

- ・ この時点で、いわて生協にもゆずれるような米がなかったが、かき集めて 10 キロの米 22 袋を持たせた。
また、帰りのガソリンも確保できるか分からない帰り道だったが、給油できそうなGSを教えて無事を祈るしかなかった。

■ 大船渡市役所職員生協 (14 日時点)

- ・ 大船渡とも電話つながらず心配していたが、14 日夜 7 時に、市役所生協の職員の鈴木さんからやっと被災地の衛星電話の順番をまって電話できたと県連に連絡があった。
- ・ 「大船渡市役所は、幸い津波の被害はうけなかった。しかし、多くの方が食べ物がなくて困っており、生協店舗にいらしてもガムしかない状態。本当に困っている。何でも良いから、食べ物をゆずってほしい。」との悲痛な電話だった。

- ・ 15日、常勤者の安否確認や現地調査や復興のために出向く共同購入のトラックを使い、おにぎり150個、バナナ5箱、みかん10箱、お菓子(バナナ箱で)3箱を積んで、市役所生協に届けることになった。かき集めてもこの程度しかないし、ガソリンがない状況の中、何度もいけない現実。被災地はどんなに苦しんでいるだろうか。

■東北農業研究センター消費生活協同組合

- ・建物や、人的被害は幸いなかった。

■連絡がつかず、様子がわからない生協(15日現在)

- ・生活クラブ生協 ・宮古市職員生協 ・遠野市役所生協 ・みやこ映画生協

《県生協連の今後の動き》

地震対策の情報収集や、生協間の対応調整などのほかに、以下のことにも取り組みます。

- (1) 生協連理事会(23日)では、今回の災害のあとの生協対応や社会的な貢献などについて、どう生協の力を発揮すべきか話し合います。
- (2) 3月16日の灯油委員会は中止にしますが、記者会見などをして灯油価格の決定と、灯油・ガソリンの絶対的不足の解消に向け岩手県が力を発揮してほしい旨を要請します。
- (3) 3月18日の協同組合講座も、延期いたします。

《現在(3月15日)各生協がもっとも困っていること、支援がほしいこと》

・・・日本生協連や、県連HPを通じて発信します。

(1) 被災地に対して

- ・ 商品を届けたい。食料、その他がほしい(パン、カップめん、弁当などすぐ食べられるものが絶対的に不足。食品以外の毛布、下着、衣類のほか、マスクやトイレトペーパー、ティッシュなど生活関連雑貨も不足)
- ・ 灯油がほしい(まだ氷点下)
- ・ ガソリンがほしい。被災地の店舗や支所に、支援にいきたいがガソリンがないため出かけられない。被災地の中でも職員が通勤できずさらに人的な不足を生じている。
- ・ 被災地からの情報が届かない、被災地に行かないと情報つかめない。

(2) 被災地以外の状況

- ・ 灯油がない、ガスがない、ガソリンがない、重油がない
⇒暖房×通勤×食品製造×保育園幼稚園×など、あらゆる生活に支障
- ・ 食品の不足 店舗には長蛇の列 コンビニも食品はほとんどない。
- ・ 水・電気などもいつ止まるかわからない不安

<お問い合わせ先>

岩手県生協連 事務局 電話:019-684-2225